

福津暮らしの旅

福津市には豊かな自然と、それと共に歩んできた人々の暮らしがあります。そのあたりまえの豊かさを体感できるプログラム、「福津暮らしの旅」を紹介します。

暮らしの旅とは

広大な田畑や白砂青松の海岸をはじめ、豊かな自然が広がる福津市。私たちの暮らしには、あたりまえのように、自然と寄り添い、楽しむ時間が流れています。そんな時間をおすそ分けする体験・交流プログラムが、「福津暮らしの旅」です。4年目の現在は、春夏と秋冬の2シーズンで、年間約40種のプログラムを実施しています。まさに暮らしが案内人となり、自然に寄り添い、楽しむ知恵や豊かさを伝えるため、プログラムをどのように実施しているのか紹介します。

どんなことが体験できるの？

今年実施した「自然の恵みを手作りでいただく、焼肉のタレとピビンバ作り」を紹介いたします。このプログラムは、食文化や食の安心をテーマに中島美香さん(星ヶ丘)が企画し、おいしい野菜を作る農家さんを訪ね、収穫、調理をします。参加者の坂元貴子さん(北九州市)は、「食べ物を口にするまでの過程を親子で体験でき、驚きと感激の連続でした。みんなで作って食べたピビンバが最高においしかった。皆さん食を大切に丁寧に楽しんでる姿が素敵だと感じました」と語っていました。



▲ピビンバをみんなでお食べる



▲焼き肉のタレと野菜たっぷりピビンバを作る



▲旬の野菜、にんにくを収穫



▲自然農を実践する「アシカ農園」(上西郷)を訪ねる



私たちが作っています

「豊かな自然をまちづくりに生かしてほしい」という市民の声から始まった、福津暮らしの旅。農漁業、飲食・宿泊業、教育関係者など多彩な分野から市民が集い、話し合いを重ね、自然に寄り添い、楽しむ暮らしをテーマとして、参加者と実施者の双方が楽しむことが出来る実施体制を創り上げました。現在、約70人の市民が実施者ワークショップの様子

▲実施者ワークショップの様子

施者やサポーターとなり、市民と市で組織する「福津暮らしの旅運営協議会(代表 柴田文敏さん)」が母体となってワークショップなどを行いながら、プログラムを企画、運営しています。「多くの人が旅を入口に、福津のファンになり、さらにリーダーになることを願って運営しています。実は私たち自身が、暮らしの魅力を再発見する場にもなっています」と福津暮らしの旅事務局の橋内京子さんは語ります。



▲一品持ち寄りでお食事をしながら語ります

暮らしの旅2015秋冬

23の旅の中から三つを紹介します。他のプログラムも暮らしの旅ホームページで紹介しています。

山の中の牧場で酪農体験

10/3(土) ほか

舎利蔵の水上牧場で乳搾りや子牛の世話、牧場散策を楽しみます。搾りたてのミルクを使い、バターやチーズ作りも体験できます。



秋の美しさを絵皿にしよう!

11/15(日)

紅葉狩りや自然をモチーフに組皿を描くことをとおして、草木の彩りや木の実の愛らしさ、庭の花の美しさなど、秋の美しい自然を楽しみます。



古墳めぐりと羽釜ごはん

12/5(土)

新原・奴山古墳群の小道を歩き、豊富な文化財を散策。地元の農家の暮らしにも触れ、羽釜で炊いた新米と郷土料理をいただきます。



2015 秋冬旅

リーフレットができました。

福津暮らしの旅

福津のいっしょを分け

vol.6
体験ガイドブック
2015
秋冬



リーフレットの設置場所

福津市役所(福間庁舎、津屋崎庁舎)、福津市観光・情報ステーションふっくる、福津市観光ステーションビーチハウス、まちおこしセンター津屋崎千軒なごみ、津屋崎千軒民俗館藍の家、あんずの里市、ふれあい広場ふくま、福津市立図書館、福津市中央公民館など

暮らしの旅に参加するには

現在、受け付け中です。プログラムはすべて予約制です。

申し込み方法

電話の場合

☎080・4168・5163
受付時間9:00~19:00(日曜日、祝日除く)

インターネットの場合

福津暮らしの旅 ホームページ
申し込みフォームから
www.kurashinotabi.jp

問い合わせ

福津暮らしの旅事務局
(福津市商工観光課内)
☎52・4951
FAX52・4469